



千葉市長

熊谷俊人

日本維新の会副代表  
大阪府知事

吉村洋文

吉村洋文知事が熊谷俊人千葉市長にインタビューしました。

**吉村** 熊谷さんは市長として報酬・期末手当・退職金を大幅カットされてきましたね。

**熊谷** はい、千葉市の財政を立て直すため、私自身の覚悟を庁内に示し、予算の徹底的な見直しに着手しました。12年近くの総額は1億円以上の削減となります。今はコロナ禍の中で多くの県民・事業者が苦しんでいます。その想いに寄り添い、県民の視点に立った県政運営が必要と考えています。

**吉村** 既得権益と闘う、しがらみのない行財政改革に関するお考えはいかがですか。

**熊谷** 私は民間出身の市長として、外郭団体の統廃合を進め、大規模公園に民間活力を導入してきました。森の中の宿泊施設や海辺のレストランなどは多くの人たちに利用され、毎年5千万円以上の財政効果が生まれています。千葉県は広大な県有地を持っており、それが十分に生かされていません。民間にできることは民間に仕事を開放し、活発な経済活動を促します。

**吉村** 新型コロナウイルス感染拡大防止への対応について聞かせて下さい。

**熊谷** 吉村知事を先頭に大阪で行われてきたコロナ対応は間違いなく国を動かしました。千葉市も県内でいち早く休日も検査可能なPCR検査センターを立ち上げたほか、総理の一斉休校に対して柔軟に対応するなど、

現場の実情に沿って対応してきました。国の指示待ちが目立った千葉県の姿勢を改め、県民の生命と暮らしを守るため、あらゆる対策を先手で打っていく必要があります。

**吉村** 持続可能都市として発展するための戦略について聞かせて下さい。

**熊谷** アクアライン800円の維持を始め、房総各地へのアクセスを改善する道路整備を着実に進めます。また、千葉市の企業立地件数を10倍に引き上げたように、経済部門の強化やトップセールスなどを組み合わせ、各地域の雇用創出に全力を挙げます。

**吉村** 透明性の高い、開かれた県政を県民は求めています。

**熊谷** 私が就任する前の千葉市は情報公開ランキングで常に最下位でしたが、いまでは情報公開、デジタル化で先駆的な自治体に生まれ変わりました。市民が受けられる福祉サービスを市側からお知らせする全国初のサービスも開始しています。透明性を高め、県民に開かれた県政を実現していきます。

**吉村** 熊谷市長のように若くてチャレンジングな政治家が活躍されるのが、地方、国家にとってプラスです。政令市長の経験者が知事になれば、両方の経験から、県市連携もより良き解にたどり着くと期待しています！